



2017年11月30日

ジェットスター・ジャパン株式会社
沖縄県豊見城市

とみぐすくし 沖縄県豊見城市がふるさと納税の返礼品対象地域に

～第三弾は、「旅のはじまりと終わりの“あじまあ^{とよ}”響むまち とみぐすく」～
※交差するところ、十字路を意味する沖縄方言

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)と沖縄県豊見城市は、ジェットスターの航空券を購入する際に利用できる「ジェットスターフライトバウチャー」を、ふるさと納税の返礼品として提供することで合意し、2017年12月1日(金)より提供開始します。返礼品として提供されるフライトバウチャーは5千円・1万円・2万円の3種類で、ジェットスター・ジャパンが運航する沖縄(那覇)発着の国内線で利用可能です。

このたび追加となった沖縄県豊見城市は、沖縄県の玄関口である那覇空港に隣接し、沖縄本島南北へ伸びるハイウェイ等が位置するなど利便性に優れた地理的特性を有しています。また、豊見城市は、県内最大級の豊崎海浜公園・豊崎美ら SUN ビーチやレンタカーステーションが立地するなど観光拠点でもあり、沖縄本島を訪れた多くの方が一度は立ち寄る地域となっております。住みやすい街としても上位にランクインする同市の土壤は保水性に富んでいることから農業も盛んで、マンゴーやトマト・葉野菜などを栽培しています。また、サトウキビの葉・穂を染料とした「ウージ染め」を開発し、市の特産物として生産しています。

このたびの合意により、ジェットスター・ジャパンのふるさと納税対象地域は、大阪府泉南群岬町、大阪府和泉市に沖縄県豊見城市が加わり、3自治体となります。なお、ふるさと納税の返礼品としての「ジェットスターフライトバウチャー」は、JTB 西日本が運営するふるさと納税ポータルサイト「[ふるぽ](#)」を活用して提供します。

日本の LCC として国内線最大シェアを擁するジェットスター・ジャパン(注)は、今後もふるさと納税制度を活用する自治体との連携を強化・推進し、地域との交流をさらに深めてまいります。



豊崎海浜公園・豊崎美ら SUN ビーチ



瀬長島ウミカジテラス

(注) 出展:国土交通省「航空輸送サービスに係る情報公開(平成29年度第1回)」(平成29年10月13日発表)

国内線マーケットシェア:51%(RPKベース:平成28年7月～平成29年6月)

ご参考: フライトバウチャー発行の流れ(ウェブサイトの場合)



■フライトバウチャーと利用方法について

フライトバウチャーは、ジェットスターの運賃、受託手荷物や座席指定等の料金、また付随する手数料や税金の全てまたは一部の支払いに利用が可能です。ジェットスターウェブサイト、コールセンターまたは空港カウンターで、航空券の購入・支払いの際にバウチャー番号を入力またはお伝えください。バウチャーを利用できる対象者はバウチャーに記載された利用者のみで、1枚につき一回となります。バウチャーの有効期限は、発効日から183日間(約6ヶ月)となります。

●利用手順

フライトバウチャーが発行されると、指定されたメールアドレスに、バウチャー番号が記載されたメールが届きます。フライトバウチャーの利用規約は[ホームページ](#)をご覧ください。

1. 必要情報を入力・選択後、お支払い画面へお進みください。
2. バウチャーに記載されているバウチャー番号をご確認ください。
3. バウチャー番号を入力し、購入ボタンをクリックしてください。

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より東京(成田)、大阪(関西)、札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋(中部)、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015年2月の香港線の開設を皮切りに同年11月の台北線、2016年3月のマニラ線、2017年6月の上海線と国際路線網を拡充しています。また、2017年12月に成田と宮崎を結ぶ初の定期運航便を就航します。現在、国内最大のLCCとして国内16路線、国際9路線を21機のエアバスA320型機(180人)で1日約100便を運航しており、就航から5年半で2,200万人以上のお客様にご利用いただいています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<http://www.jetstar.com>

*国内路線数、国内運航便数(2017年11月現在)